



# 砂浜のキャンドル作り！

貝がらに、とがしたろうを流しこ  
むだけ。色をつけたい時は、クレ +  
ヨンをけずって入れてみよう。  
時には、電気をけて、ろうそくのあかりで  
あざすのもステキかも!!



## 砂浜の素材でオリジナルキャンドル

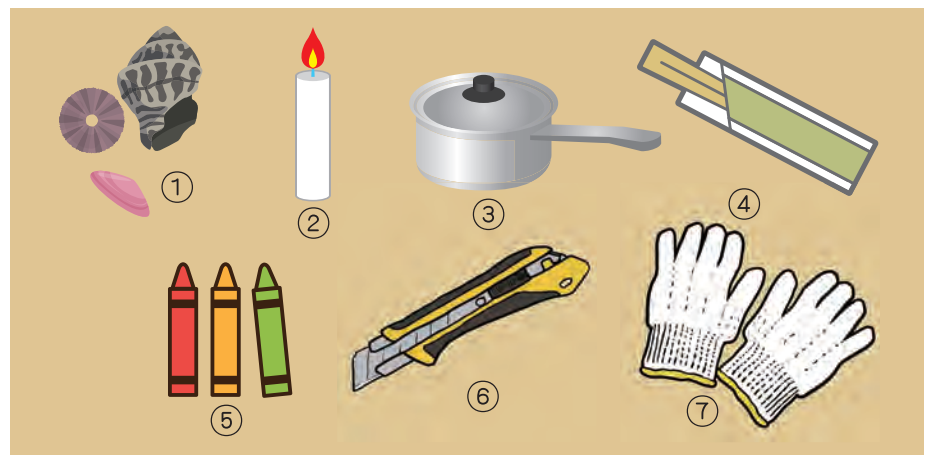
貝殻を使って、かわいらしいオリジナルキャンドルを作ります。  
お土産にもなりますし、作った物を夜のプログラムで使用して、  
雰囲気作りをしてもいいですね。

対象 小学生～大人  
場所 砂浜（屋内）  
時間 2時間

## 2. 2. プログラムの前に...

### 1. 用意するもの

- ①漂着物
- ②ろうそく
- ③鍋
- ④割りばし
- ⑤クレヨン
- ⑥カッター
- ⑦軍手



### 2. 事前の準備

#### スタッフも事前に作ろう

温度の加減、着色の分量など、作成の際は多くのコツが必要となります。  
スタッフも事前に作成し、参加者にコツを伝えられるようにします。

#### 漂着物を拾う

- ・漂着物は土台となる大きい物を用意しましょう。
- ・使用する漂着物はあらかじめ塩抜きをしておきましょう。
- ・時間に余裕がある場合は、参加者に取りに行ってもらってもいい体験になります。



## 2. 日くらの本番!

### 1. 素材について紹介! (約10分)

参加者の前に使用する漂着物を広げて紹介しましょう。正体のわかりにくいものもありますので、クイズ形式で行うとより関心を引き出せるでしょう。

### 2. キャンドルを作ろう! (約100分)

#### ①キャンドルの土台選び

漂着物の中からキャンドルの土台になりそうな大きめの貝を探します。巻貝や二枚貝で穴が開いていないもの、安定性があるものを選びましょう。

#### ②ロウの準備

ろうそくを小さく砕いて鍋に入れ、溶かします。ロウが溶けたら削ったクレヨンを入れ、割りばしでかき回しながら着色します。

#### ③ロウを入れ、固める

ロウを土台に流し込みます。この時、周りに飛び散らないようにゆっくり流し込んでください。ロウが固まらないうちろうそくの芯を入れ、わりばしで安定するまで支えます。芯がズれてしまったら直しましょう。30分もすれば完全に固まります。



### 3. キャンドルを鑑賞(約10分)

キャンドルが完成したら、みんなで作品を鑑賞します。火を灯しながら鑑賞すると、落ち着いた雰囲気の中で眺めることができます。最後に海の広がりや漂着物について紹介するとより理解が深まるでしょう。



### ココがポイント

#### 着色はよくばらず

着色に使用するクレヨンは少量でも十分染めることができます。一度に入れずに少しずつ入れて好みの色に調整しましょう。

#### アロマキャンドルにも!

ロウを流し入れる前に、アロマオイルなどの香り成分を入れるとアロマキャンドルにすることができます。大人の女性など対象に合わせて挑戦してみましょう。

